

地域ぐるみで子どもたちを守る —「スクールガード養成セミナー」—



八月二十一日、南丹市園部公民館で「南丹市スクールガード養成セミナー」が開催され、学校関係者やPTA役員など三十五人が出席しました。子どもが被害者や加害者になる事件が多発する現代、学校・家庭・地域が連携して子どもの安全な環境をつくる重要性について、京都産業大学大学院法務研究科の藤岡一郎教授が講義されました。

また、南丹警察署生活安全課の西村勝美係長による、護身術の実技を交えた安全対策指導が行われました。

メモを取りながら熱心に聴講する出席者

八月二十二日、南丹市の民生児童委員協議会「福祉教室」で、生委員・児童委員を対象に地域の福祉ニーズに即した知識と理解を深めるための「福祉教室」が南丹市国際交流会館で行われ、百十人が参加しました。今回はドメスティック・バイオレンス（以下「DV」）の問題をテーマとして開催され、DV対策の現状と課題の講演を立命館大学の中村正教授から受けた後、委員同士による活動や体験などの意見交換がされ、これからの委員活動における充実が図られました。



地域の実情や問題など意見交換がされました

ご存じですか？

京都府社会環境浄化推進員制度

京都府では、「青少年の健全な育成に関する条例」に基づき、青少年を取り巻く社会環境の浄化を推進し、良好な環境の下に青少年の健全な育成を図ることを目的として、この制度を設けています。

七月に委嘱状の交付式があり、南丹市では次の方々に『京都府社会環境浄化推進員』として二年の任期でお世話になっていきます。

推進員氏名（担当地域）	
奥村 功（園部町）	八木 節子（八木町）
内藤美佐子（園部町）	船越 重雄（日吉町）
廣瀬 稔（八木町）	松村 芳男（美山町）

（順不同・敬称略）

推進員の方々には、日頃の活動を通じた制度の普及、啓発に取り組んでいただくほか、次のような活動をしていただいています。

京都府社会環境浄化推進員活動報告・提言書の提出
社会環境（青少年育成関連行事、有害図書・がん具刃物類の販売、青少年にとって有害と思われる場所など）の現状を把握する資料として、担当地域の現状や活動状況などを報告いただいています。

社会環境状況調査の実施
担当地域の社会環境の状況について調査をお願いしています。調査結果については、京都府の職員による関係店舗などへの立入調査に活用させていただきます。

京都府社会環境浄化推進員懇談会
推進員と学校、警察、市町村等の関係職員が意見、情報交換を行います。